

平成30年度 前期 保護者アンケートの結果について

見出しの「保護者アンケート」の結果をお知らせします。この結果を踏まえ、保護者の皆様のご貴重なご意見をこれからの教育活動に役立てていくよう尽力いたしますので、より一層のご協力をお願いいたします。

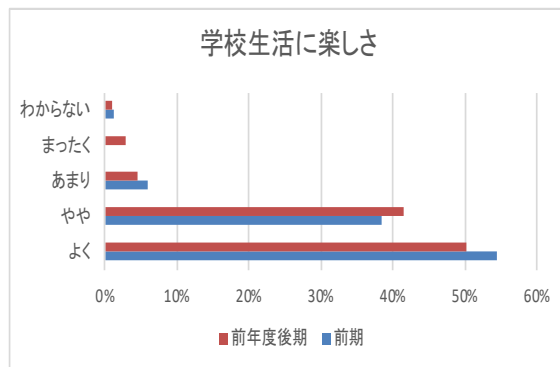
1. 学校でのようすについて

(1) 「お子さんは、学校生活に楽しさを感じていますか。」

前年度後期と比較して、「よく」の割合が4%増加しました。「よく」と「やや」を合わせた割合は92%で、前年度より1%増加しました。また、「まったく」「あまり」の割合についても減少しています。

しかし、依然として、学校に楽しさを感じられていない生徒がいることも事実です。

生徒一人一人が充実した学校生活を送れるよう、引き続き学習面や生活面など多方面から指導の見直しを図っていきたいと思います。

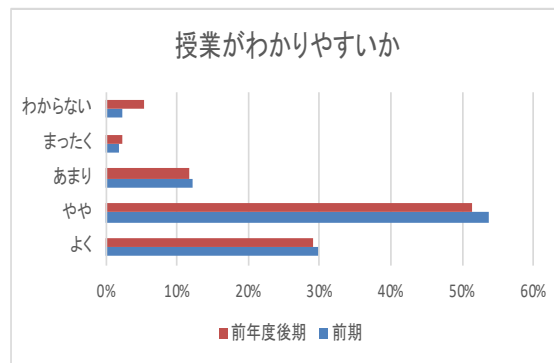


(2) 「お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。」

「よく」「やや」を合わせた割合は84%で、前年度後期と比べて4%増加しました。

しかし、「あまり」「やや」を合わせた割合は前年度後期と変化がありませんでした。

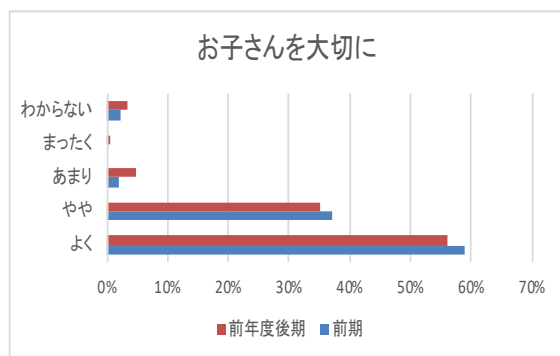
本校では、各教科において先進的な研究を進めていますが、どの生徒にも基礎基本を定着させることにさらに力を注いでいきます。これまでテスト前に希望者を対象に学習会を行ってきましたが、今年度よりテスト後にも復習のための学習会も位置づけました。さらに、必要に応じて担任とご家庭で相談しながら家庭学習の計画を立てるなど、日常的な学習の見届ができるよう努めてまいります。学習についてご質問があれば、学級担任にいつでもご相談ください。



(3) 「学校は、お子さんを大切にしていますか。」

「よく」「やや」を合わせた割合は94%で、前年度後期と比べて5%増加しました。一人一人のよさを認め、価値づける指導を心がけたり、ご家庭と連絡を取り合いながら指導を進めたり成果が表れていると感じ、大変嬉しく思っています。

「あまり」「まったく」を合わせた割合は5%で、わずかに減少しているものの、学校の姿勢が不十分であると感じられているご家庭があるのも事実です。すべての生徒を大切に、すべてのご家庭から信頼を得られることを引き続き目指してきます。11月下旬に行われる三者懇談の前に、担任と生徒の二者懇談を実施します。また、定期的に心のアンケートを取り、生徒一人一人が抱える不安を把握し、生徒に寄り添った指導を進めてまいります。このよう機会だけでなく、日常的に相談を受け入れていきたいと考えております。いつでも学級担任、学年主任等にご相談ください。

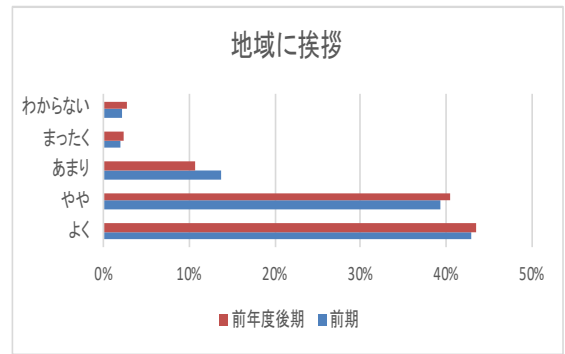


生徒一人一人が抱える不安を把握し、生徒に日常的に相談を受け入れていきたいと考えております。

2. 家庭でのようすについて

(1) 「お子さんは、地域や近所の方に会ったときも挨拶していますか。」

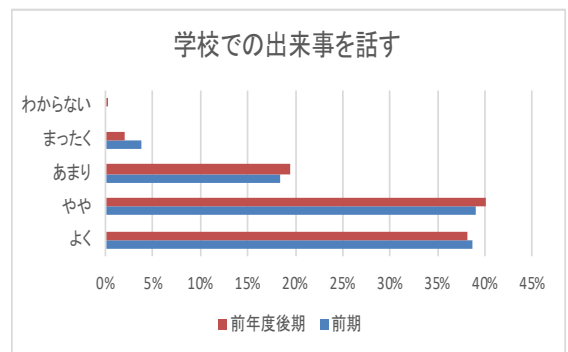
「よく」「やや」を合わせた割合は 82%で、前年度後期と比べて、3%減少しており、「あまり」の割合がその分増加しています。挨拶については、別の質問項目「家族に挨拶をしていますか。」においても、「よく」の割合が減少傾向にありました。学校では、生活部会が中心となって挨拶を広める活動をしており、部活動の指導においても挨拶は大切にしています。今後、挨拶の意義や素晴らしさについてもお子さんが実感できるようさらに指導を徹底してまいります。ご家庭におかれましても、積極的な挨拶ができるようお声がけ願います。



(2) 「お子さんは、学校での出来事を家族に話しますか。」

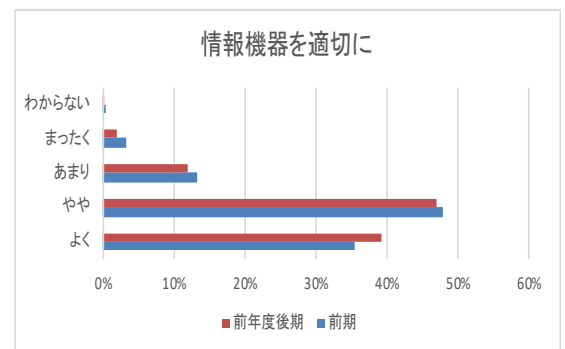
「よく」「やや」を合わせた割合は、78%で前年度後期と大きな変化はありませんでした。

しかし、「まったく」の割合は倍増しています。学校生活について、ご家庭と共有することはお子さんの成長にとってとても大切なことであると考えています。今後も必要に応じて学校から通信やメール等で学校の出来事をお伝えしていこうと思いますので、ご家庭でもぜひ学校生活について話題にさせていただきたく思います。



(3) 「お子さんは、パソコンや携帯電話、ネット接続可能なゲーム機器等の情報機器を適切に使用している。」

「よく」「やや」を合わせた割合が 83%で、全年度後期と比べて、やや減少傾向でした。IT 機器は、大人だけでなく子どもたちの生活にも密接に関わるようになってきています。大変便利である反面、使い方を誤ると大変大きな問題に発展することも少なくありません。本校では、外部より講師を招いて、中高生を取り巻く IT 機器の現状や、起きている問題について考える講座を実施しました。子どもたちは、IT 機器に大変興味があり、操作を覚えていくのも大変早いです。しかし、やはり未熟であるために、誤った判断をしてしまう可能性も十分にあります。利用時の約束を作り、定期的に見直す場を設けたり、お子さんの利用状況を確実に見届けたりして、子どもたちが大きなトラブルに巻き込まれないよう、ご家庭での指導をお願いいたします。



3 その他

1・2の主な結果以外にも、学校に対するご意見・ご要望を数多くいただきました。学年主任が各学年のものを取りまとめ、全学年のすべての記述について職員間で共有をしました。すぐに改善可能なご指摘をはじめ、ご家庭を交えて相談していく必要があるご意見もいただきました。紙面の都合上すべてを紹介し、回答することはできませんが、気になる点がございましたら、ぜひ直接学校にお知らせください。

子どもたちが成長していくためには、学校とご家庭が共通理解を図った上で、連携して指導をしていくことが不可欠であると考えております。至らぬ点はまだまだありますが、子どもたちのために頂いたご意見を真摯に受け止めて指導してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

先日の保護者アンケートにて、具体的にいただいたご意見の一部をご紹介します。

□授業について

「考える力、対話する力をつける授業は子どもたちにとってとても良いものだ」や、「教科の先生ごとに授業に特色があり、子供がとても楽しいと感じている」という意見をいただきました。一方で、「基礎基本の定着を目指した丁寧な授業をしてほしい。」という関連のご意見もありました。

本校は、学習について先進的な実践研究を行っており、各教科において様々な学習活動を行っております。しかし、これは教科に関わる基礎基本の定着があってこそのものであると考えております。今後も教科に関わる基礎基本の理解を図り、さらにそれらを活用することができる生徒の育成を目指してまいります。

□家庭学習について

「定期的に宿題を出してほしい」「学習計画の立て方についても指導してほしい」というご意見をいただきました。テストまでに該当する範囲を示し、最低限必要と思われる家庭学習を実施しています。各家庭によって、家庭学習に充てられる時間は様々なため、このような形で基礎基本の定着を図っているところです。これ以外に学習を進めたい場合は、個別の計画を立てるなど対応をしておりますので、ぜひ学級担任にご相談ください。

□評価について

「評価を常に意識して、自発的な行動ができていないのではないか。」というご意見をいただきました。評価については、生徒の皆さんには、各授業のオリエンテーションで、保護者の皆さんには評価説明会（1年生対象）で説明をさせていただいているところです。学期末に結果として示すだけでなく、その過程で成績に関する声かけをする場合もございます。教員側としては、生徒たちが力を十分に発揮できることを願って、折を見て声かけをさせていただいておりますが、言葉が適切でなかったり、言葉足らずだったりするために、十分に意図が伝わっていない可能性があります。今後、生徒たちが十分に力を発揮できるよう、丁寧な説明を含めたコミュニケーションを図ってまいります。

□部活動について

「道具の管理を自分でするなど、自立心が芽生えた」「部を越えてお互いに応援しあう姿が素晴らしい」というご意見をいただきました。一方で、「部活動は人生を豊かにすると考えるが先生方の負担、子ども達の休養の取り方、親の支援も温度差があるため、附属学校としての方向性が必要なのではないか。」というご意見をいただきました。部活動については、原則平日3日、土日のいずれか1日で2時間という範囲で活動しております。近年、様々なところで部活のあり方が議論されていますが、本校では、部活動の主旨である生徒の自主性、自発性を大切にするとともに、活動日と休日はガイドラインに沿ったものとしております。生徒、保護者、指導者のいずれにとっても有意義な活動になるよう、変更が必要な場合は部活動育成会等で検討してまいります。

□その他

「インターネットリテラシーと著作権侵害について教えて下さい。家でも教えていますが、他生徒のSNSには個人情報が多い。」との意見をいただきました。メディアリテラシーについては、9月上旬に外部より講師を招き、全生徒を対象に講座を実施しました。これと合わせて、教科や道徳の時間を通して、日常的に育成しております。ご家庭でも利用状況の見届けや利用方法の指導を継続して行っていただきますようお願いいたします。

紙面の都合上、全てを紹介することはできませんが、この他にも多数の励ましや改善点のご指摘をいただきました。今後も、ご家庭と学校で連絡を密にしながら、よりよい学校教育を目指していきたいと思います。お気づきになられた点がございましたら、学校までご連絡いただきますようお願いいたします。